

令和 8 年 茂原市教育委員会会議 5 月定例会 日程

日時：令和 8 年 5 月 2 6 日（火） 1 5 時 0 0 分～

場所：茂原市役所 9 階 9 0 1 ・ 9 0 2 会議室

1 開会宣言

2 会議録署名人の指名

3 会議事項

（議決事項）

議案第 1 号 教育財産の用途廃止について

議案第 2 号 茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について

（報告事項）

報告 1 臨時代理の報告について（教科用図書長生採択地区協議会委員の選任）

報告 2 令和 8 年度 6 月補正予算について

報告 3 令和 8 年度重要事項について

4 閉会宣言

議案第 1 号

教育財産の用途廃止について

茂原市教育委員会は、次の教育財産について用途廃止する。

令和 8 年 5 月 2 6 日提出

茂原市教育長 富 田 浩 明

1 用途廃止する教育財産の名称及び所在等

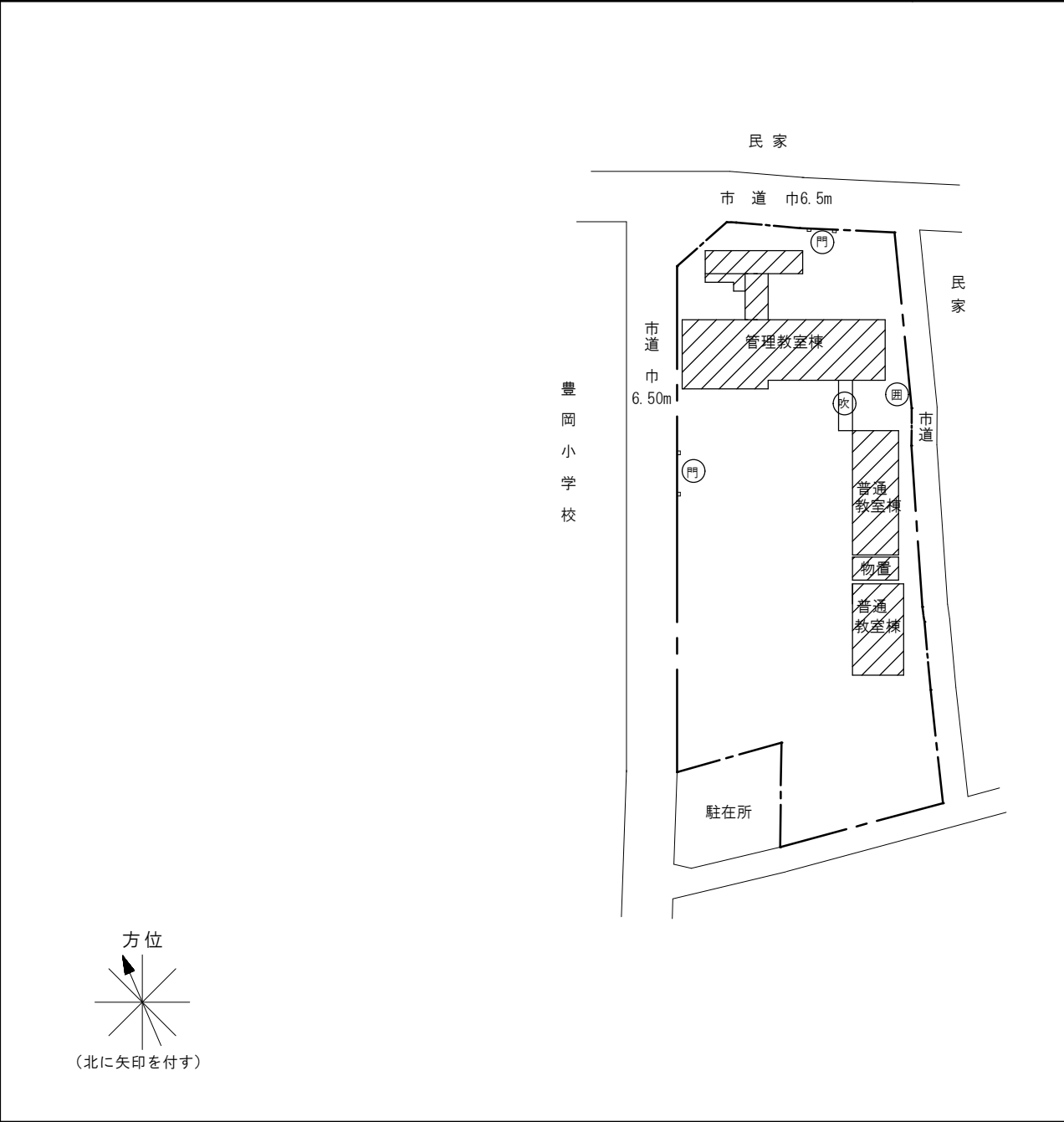
(1) 名 称	旧豊岡幼稚園
所 在	茂原市栗生野 2 6 5 3 番地 1
土 地	3, 3 6 3. 3 2 m ²
建 物	7 2 1. 9 2 m ²

(2) 名 称	旧中の島幼稚園
所 在	茂原市下永吉 1 0 5 6 番地 2
土 地	2, 7 4 2 m ²
建 物	3 8 7. 7 7 m ²

提案理由 旧豊岡幼稚園及び旧中の島幼稚園については、茂原市公共施設等総合管理計画に基づいた施設の利活用のため、茂原市民間提案制度により提案募集しておりました。今後資産経営課において契約予定者と売買契約及び賃貸借契約を締結するため、用途廃止し、資産経営課へ引継ぎをしようとするものです。

学校名	豊岡幼稚園	平面図
-----	-------	-----

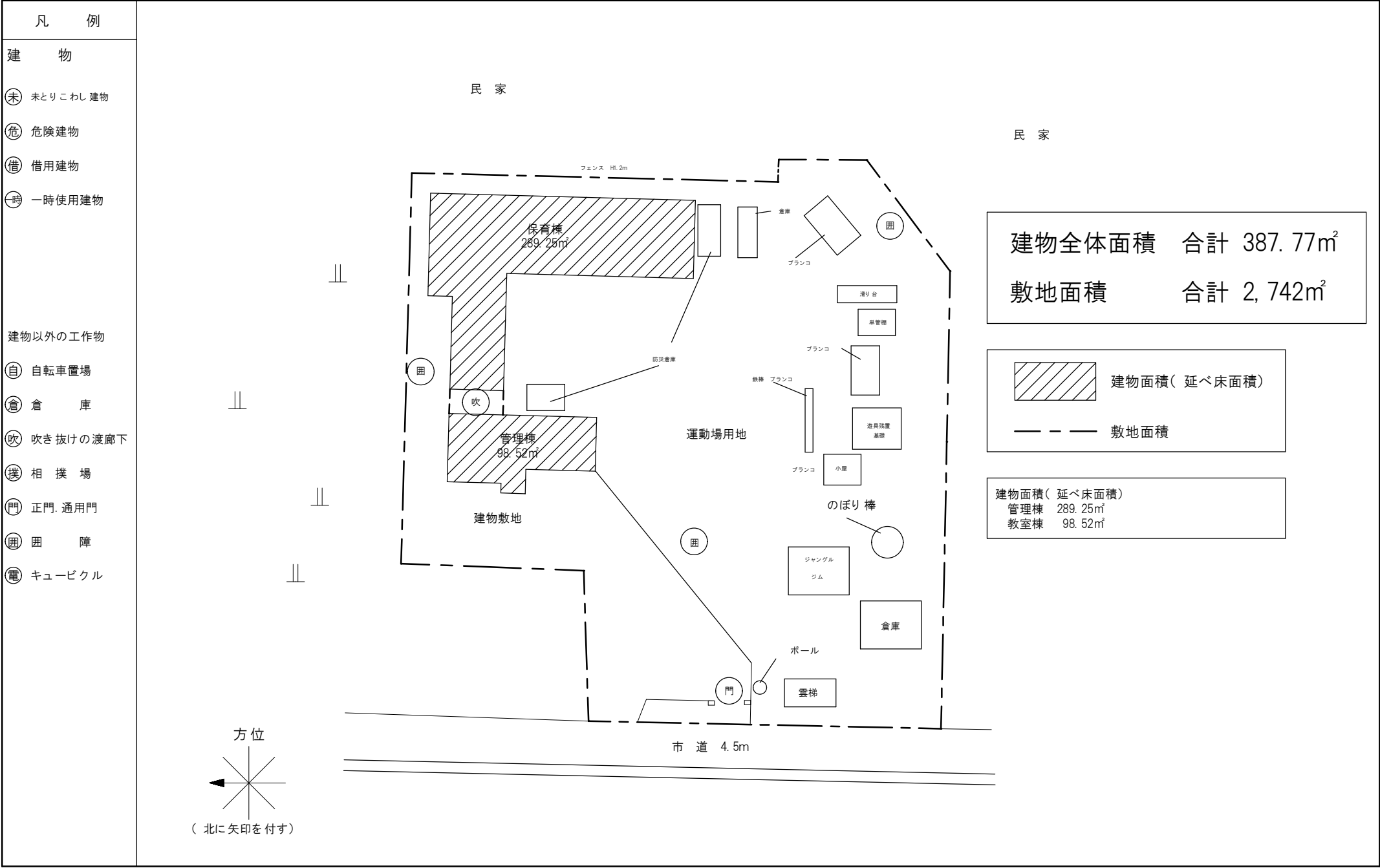
凡 例
建 物
⊖ 未とりこわし建物
⊖ 危険建物
⊖ 借用建物
⊖ 一時使用建物
建物以外の工作物
⊖ 自転車置場
⊖ 倉 庫
⊖ 吹き抜けの渡廊下
⊖ 相 撲 場
⊖ 正門. 通用門
⊖ 囲 障
⊖ キュービクル



建物全体面積	合計 721.92㎡
敷地面積	合計 3,363.32㎡

	建物面積(延べ床面積)
	敷地面積

建物面積(延べ床面積)	
管理教室棟	424.47㎡
普通教室棟	172.24㎡
普通教室棟	118.33㎡
物置	6.88㎡



報告 3

令和 8 年度重要事項について

このことについて、教育部における重要事項を下記の優先順位で提出したことを報告する。

令和 8 年 5 月 2 6 日提出

茂原市教育長 富 田 浩 明

記

重要事項（優先順位）

- 1 学校施設の老朽化対策及び施設整備（教育総務課）
- 2 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進（生涯学習課・学校教育課）
- 3 学校規模の適正化・適正配置（教育総務課学校再編推進室）
- 4 休日の学校部活動の地域展開（学校教育課）
- 5 英語教育の充実（学校教育課）
- 6 令和 9 年度高校総体の開催（スポーツ振興課）
- 7 市史編さん事業（美術館・郷土資料館）

重 要 事 項 (令和 8 年度)

部名	教育部	課名	教育総務課
----	-----	----	-------

事業名	学校施設の老朽化対策及び施設整備
-----	------------------

《当年度》

現在の状況	学校施設は建築後 40 年以上経過している建物が 40 棟程度あり老朽化対策が喫緊の課題となっている。危険性及び緊急性を考慮し、優先順位を決めながら、学校施設の整備方針や 3 か年実施計画に計上した事業を中心に、補修等に取り組んでいる。国の助成制度や起債及び基金の活用に努め、毎年度、補修等を行っているが対策が十分とは言えない状況である。	
解決すべき課題・問題	・児童生徒の安全の確保、空調設備を含めた教育環境の整備を第一に考えなければならない。 ・危険性及び緊急性がある修繕等は、早急に対応する必要がある。特に茂原小学校は老朽化による事故発生リスクが高いと考えており、早急に対策する必要がある。 ・長寿命化対策や大規模改修等は、公共施設等総合管理計画により、費用の平準化や複合化の検討が必要となる。	
解決へ向けた取り組み	①	活用できる国の助成制度、市債や基金を把握する。
	②	改修工事等について、関係部署と協議し、費用面や、実施時期等を検討する。
	③	学校施設の整備方針に基づき 3 か年実施計画で改修時期等を位置づける。
	④	包括管理委託の範疇を超える危険性及び緊急性の高い修繕については、速やかに予算確保を行う。
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	・3 か年実施計画に計上した事業が完了している。 ・危険性及び緊急性の高い修繕等が発生した場合は、速やかに協議し、対応が図られている。	

《前年度》※前年度から継続した事業である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	【3 か年】東郷、豊田、二宮小学校エアコン改修工事
	②	東郷小学校第 4 校舎トイレ改修工事 他小学校 4 工事
	③	【3 か年】南中学校待ち受け擁壁設置工事 他南中学校 2 工事
	④	本納小中学校駐車場門扉設置工事 他中学校 7 工事
改善結果	児童生徒の安全確保と、良好な教育環境の推進を図った。	
結果の評価	学校施設を整備することで、児童生徒が安全で、安心した学校生活を送ることができるが、公共施設等総合管理計画において老朽化対策が必要な学校は数多くあり、引き続き対策を講じる必要がある。	

重 要 事 項 (令和 8 年度)

部名	教育部	課名	生涯学習課 学校教育課
----	-----	----	----------------

事 業 名	「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」の 推進
-------	-------------------------------

《当年度》

現在の状況	令和 8 年度より市内全小中学校において、社会総がかりで子供を育てていくためにコミュニティ・スクールを導入した。 保護者や地域の方に学校運営に参画いただき、学校・保護者・地域が目標や課題を共有しながら、年 3 回程度の会議を開催する。	
解決すべき 課題・問題	学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む体制の構築。	
解決へ向けた 取り組み	①	各協議会が主催する会議の運営状況について確認する。
	②	各協議会ごとの課題を把握するとともに必要に応じて支援を行う。
	③	他自治体の取り組み状況を確認し、協議会への情報提供を行う。
	④	
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	各協議会からの課題を把握するとともに円滑な協議会の運営を図っていくことで、協議会の体制が確立される。	

《前年度》 ※前年度から継続した重要事項である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した 取り組み	①	庁議 (9/17)
	②	校長教頭説明会 (10/1、2)
	③	タウンミーティング (10/19、11/9、16) 77 名参加
	④	規則制定 (1 月) 条例改正 (3 月)
改善結果	導入に必要な準備が完了した。	
結果の評価	概ね予定どおり実施できた。	

重 要 事 項 (令和8年度)

部名	教育部	課名	教育総務課
----	-----	----	-------

事 業 名	学校規模の適正化・適正配置
-------	---------------

《当年度》

現在の状況	学校再編審議会の答申を受け、タウンミーティングを開催するなど基本計画【第二期】の策定に向けた取組を進めている。 また、本納小学校と豊岡小学校の統合について、充実した学びを展開できる教育環境を確保するため、保護者や地域住民との話し合いを行っている。								
解決すべき課題・問題	学校再編の取組を開始してから9年が経過し、学校規模の適正化・適正配置を検討するにあたっての状況が大きく変化していることから、基本計画【第二期】を策定し、新たな考え方・進め方のもと、その取組を進めていく必要がある。								
解決へ向けた取り組み	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">①</td><td>基本計画【第二期】の策定に向けたパブリックコメント等の実施</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td><td>基本計画【第二期】の策定</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td><td>本納小学校と豊岡小学校の統合に向けた話し合いの継続</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td><td>小規模化した学校の学校規模適正化・適正配置のための取組</td></tr> </table>	①	基本計画【第二期】の策定に向けたパブリックコメント等の実施	②	基本計画【第二期】の策定	③	本納小学校と豊岡小学校の統合に向けた話し合いの継続	④	小規模化した学校の学校規模適正化・適正配置のための取組
①	基本計画【第二期】の策定に向けたパブリックコメント等の実施								
②	基本計画【第二期】の策定								
③	本納小学校と豊岡小学校の統合に向けた話し合いの継続								
④	小規模化した学校の学校規模適正化・適正配置のための取組								
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	学校再編基本計画【第二期】を策定し、小中学校の学校規模適正化・適正配置の取組を進める。								

《前年度》※前年度から継続した事業である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">①</td><td>基本計画【第二期】の策定に向けた学校再編審議会（3回）</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td><td>基本計画【第二期】の策定に向けたタウンミーティング（5回）</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td><td>基本計画【第二期】（案）の決定</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td><td>本納小学校と豊岡小学校の統合に関する取組</td></tr> </table>	①	基本計画【第二期】の策定に向けた学校再編審議会（3回）	②	基本計画【第二期】の策定に向けたタウンミーティング（5回）	③	基本計画【第二期】（案）の決定	④	本納小学校と豊岡小学校の統合に関する取組
①	基本計画【第二期】の策定に向けた学校再編審議会（3回）								
②	基本計画【第二期】の策定に向けたタウンミーティング（5回）								
③	基本計画【第二期】（案）の決定								
④	本納小学校と豊岡小学校の統合に関する取組								
改善結果	学校再編審議会から次期基本計画の骨子について答申を得ることができた。また、タウンミーティングを開催したことで、市民に答申の内容を説明するとともに意見を伺うことができた。 本納小学校と豊岡小学校の統合に関する話し合いでは、望ましい教育環境を確保するため、話し合いを継続していく必要があるとの共通認識を持つことができた。								
結果の評価	過程を大切にした対話や丁寧な説明を行ったことで、学校規模の適正化・適正配置について、関係者の理解を深めることができた。								

重 要 事 項 (令和 8 年度)

部名	教育部	課名	学校教育課
----	-----	----	-------

事 業 名	休日の学校部活動の地域展開
-------	---------------

《当年度》

現在の状況	既に実施している柔道部に加え、バレーボール部についても令和 8 年 4 月から休日の地域展開を完全実施し、学校部活動は行わない。 他の部活動については、学校部活動との並立により休日の地域展開を実施する。	
解決すべき課題・問題	・ 地域クラブがない、又は特定の中学校の生徒に限定している部活動があるなど、受け皿が不十分。 ・ 地域クラブで活動する意向の生徒が少ない。 ・ 地域クラブにおける不適切な指導の防止に取り組む必要がある。 ・ 国が示す認定要件に基づき、地域クラブの認定を行う必要がある。	
解決へ向けた取り組み	①	地域クラブの募集延長
	②	生徒、保護者及び地域クラブを対象とした説明会の開催及び「地域展開だより」の発行による周知
	③	学校顧問と地域クラブの合同会議の開催
	④	地域クラブに対する新たな認定制度の構築
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	・ 全ての部活動について、休日の学校部活動の地域展開を完全実施する環境が整っている。	

《前年度》※前年度から継続した事業である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	地域クラブの公募及び見学会の開催
	②	生徒、保護者及び地域クラブを対象とした説明会の開催及び地域への回覧文書の配付
	③	学校顧問と地域クラブの合同会議の開催
	④	中学 1・2 年生に対する意向調査の実施
改善結果	新たに 20 の地域クラブを認定し (合計 26 団体)、多くの部活動において休日部活動の地域展開が進んだ。バレーボール部については、完全実施することができた。	
結果の評価	バレーボール部の地域展開完全実施については予定どおり。他の部活動については、更なる地域クラブの確保が必要。	

重 要 事 項 (令和 8 年度)

部名	教育部	課名	学校教育課
----	-----	----	-------

事 業 名	英語教育の充実
-------	---------

《当年度》

現在の状況	本市では ALT による語学指導の充実や中学生等海外派遣等研修事業の実施により、英語力の向上を図ってきたところであるが、令和 7 年度から英検の公費助成を開始し、国の目標指標である中学校卒業段階での英検 3 級相当以上の英語力を有する者の割合 60% 以上を目指している。	
解決すべき課題・問題	中学校卒業段階での英検 3 級相当以上の取得率について、国の目標指標の 60% と大きな乖離がある。	
解決へ向けた取り組み	①	各学校において英検受験を年間計画に位置付けることで、3 年生全員の受験を促す。
	②	茂原市教育研究協議会の英語教育部会を中学校区ごとに開催し、小学校段階からの系統的な学習を積み重ねることで英語教育を充実させるとともに、授業改善、教員の指導力向上を目指す。
	③	ALT の効果的な活用により、ネイティブの発音に触れる機会を増やすとともに、担当教員との TT (チームティーチング) による授業改善を図る。
	④	企画政策課と連携し、オンラインによる国際交流を行い、異文化に触れる機会を増やす。
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	各学校において英検受験が浸透し、タブレットを活用した英検ドリルの実施など授業内外で英検に特化した取り組みが積極的に行われる。 令和 8 年度の目標値である、英検 3 級相当以上の取得率 42% 以上を達成する。	

《前年度》※前年度から継続した事業である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	①	学校（準会場）で受験した 606 名の生徒に対し、英検の公費助成を行った。
	②	夏季休業中の集合研修を小中学校別実施し、教員の指導力向上に繋げた。
	③	企画政策課と連携し、ソルズベリー市の児童とオンラインによる国際交流を行った。
改善結果	英検 3 級相当以上の取得者数は 238 名であり、3 月末の生徒数 654 名に占める割合（取得率）は 36.4% となった。	
結果の評価	令和 7 年度の目標値であった 37% を、概ね達成した。 ※参考 令和 6 年度：25.1%	

重 要 事 項 (令和 8 年度)

部名	教育部	課名	スポーツ振興課
----	-----	----	---------

事 業 名	令和 9 年度高校総体の開催
-------	----------------

《当年度》

現在の状況	令和 9 年度の高校総体の男女バレーボール競技は、茂原市、東金市、大網白里市の共同開催となり、令和 7 年度より本格的な協議が実施されている。令和 8 年度はスポーツ振興課に高校総体担当と県保健体育課より指導主事 1 名（週 3 日）が配置された中で大会の準備及び運営業務を進めていく。	
解決すべき課題・問題	・ 共同開催する東金市、大網白里市と連携による円滑な大会運営 ・ 茂原市市民体育館の駐車場不足への対応 ・ 市民のスポーツに対する機運の醸成	
解決へ向けた取り組み	①	東金・大網白里市、県、高体連などとの情報共有と連携強化
	②	周辺の学校、旧市民会館跡地、茂原公園駐車場等の借用と市・民間バスでの送迎
	③	市実行委員会の設立による関係者への周知
	④	高校総体の開催を機にスポーツへの機運を高め、生涯を通じたスポーツの推進を図るため、小中学生の大会への招待
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	全国から多くの来場者が見込めることから、市の活性化と多様な魅力を積極的に発信する機会としてとらえ、その実現に向け関係者と連携できる体制を構築する。令和 9 年度予算で執行する事業を除き、令和 8 年度中に可能な限りの準備を整える。	

《前年度》※前年度から継続した事業である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した 取り組み	①	
	②	
	③	
	④	
改善結果		
結果の評価		

重 要 事 項 (令和 8 年度)

部 名	教育部	課 名	美術館・郷土資料館
-----	-----	-----	-----------

事 業 名	市史編さん事業
-------	---------

《当年度》

現在の状況	平成 29 年 4 月に編さん委員会を発足以来、刊行計画や市史の体裁の決定、調査執筆委員の委嘱、資料の所在調査、原稿の執筆を進めてきた。令和 5 年 3 月に 1 冊目となる資料編Ⅰ（原始・古代、中世考古）を 1000 部刊行し、令和 8 年 3 月には 2 冊目となる資料編Ⅱ（中世）を 600 部刊行。今後は、近世（1・2）、近現代、民俗資料編、通史編（上下巻）、ダイジェスト版の流れで 7 冊（全 9 冊）を刊行していく。
解決すべき課題・問題	茂原市史刊行計画の通り刊行するために、予算の確保が必要である。また、販売による収入を見込むため、適正な販売価格を設定する。
解決へ向けた取り組み	① 第 3 次 3 か年実施計画に掲載する。 ② 収入を確保するため、販売価格を検討する。 ③ 効果的な周知方法等を検討する。 ④ 継続的な調査及び原稿執筆の実施。
年度末の状況 (取り組みにより 目指す状態)	2 冊目となる『茂原市史資料編Ⅱ（中世）』の普及啓発を行うとともに、『茂原市史調査報告書第十一集』を刊行する。

《前年度》※前年度から継続した事業である場合は、必ず以下も記載すること。

実施した取り組み	① 『茂原市史資料編Ⅱ（中世）』の刊行。（印刷製本費 2,554,200 円） ② 市史編さん委員会を年 4 回開催、市史調査 39 回、資料調査 60 回。 ③ 調査執筆委員 2 名（民俗部門）の新規委嘱（調査執筆委員合計 30 名）。 ④ 『茂原市史調査報告書第十一集 茂原市の教育史調査報告書』の編集作業。
改善結果	調査及び原稿執筆を行いながら、編集作業を行った。
結果の評価	引き続き県内外の関係資料の調査を進めるとともに、原稿の執筆並びに編集作業を進める。